

知っていますか、 がん検診のこと ～受診のススメ～

がんは日本人の死亡原因第1位

日本では年間30万人以上が、がんで亡くなり、死亡原因の第1位となっています。また2人に1人は生涯に何らかのがんにかかるとも言われ、もはや「国民病」とも言える状況です。一方で、検診による早期発見により、早期治療が可能となってきています。

無症状の方こそ検診を

「何も症状がないから」と、受診しない方が少なくありません。しかし、無症状の段階で早期発見することが「がん検診」の目的なのです。市や国では、がん検診を行っています。対象となる方は、ぜひ受診してください。

詳しくは健康課特定健診係☎477・0013へ。

市のがん検診

市では、がん検診を行っています(下表1参照)。年齢や実施時期によって、今年度は受診できないものもあります。

(表1) 市実施がん検診一覧表

種類	対象	自己負担金	会場	実施時期	受診方法
肺がん検診	40歳以上の方	喀痰なし 1,500円 喀痰あり 2,000円	市内実施医療機関	5月 (今年度は終了)	直接医療機関へ
胃がん検診	40歳以上の方	500円	わくわく健康プラザ	春5月・6月 (終了) 秋9月・10月	募集期間内に健康課へ申し込み
大腸がん検診※	40歳以上の方	500円	市内実施医療機関	6月～10月	直接医療機関へ
乳がん検診	40歳以上の女性で 26年12月31日時点で 奇数年齢の方	1,000円	指定医療機関	10月～27年2月	募集期間内に健康課へ申し込み
子宮頸がん検診	20歳以上の女性で 26年12月31日時点で 奇数年齢の方	1,000円	市内実施医療機関	9月～11月	直接医療機関へ

※特定健診、後期高齢者健診の対象者は、特定健診などと同時に受けてください。

働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業

今年から新たに開始された国の事業です。26年4月20日時点で市内在住の女性で条件を満たす方(下表2参照)に、がん検診の無料クーポン券(「子宮頸がん」または「乳がん」)を7月下旬に送付しました。詳細は同封の「ご案内」をご覧ください。

(表2) 働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業(クーポン券)対象者

種類	生年月日	対象
乳がん検診	昭和48年4月2日～49年4月1日	過去に「乳がん検診無料クーポン券」を使用していない方(未受診だった方)
	昭和43年4月2日～47年4月1日	
	昭和38年4月2日～42年4月1日	
	昭和33年4月2日～37年4月1日	
子宮頸がん検診	昭和28年4月2日～32年4月1日	過去に「子宮頸がん検診無料クーポン券」を使用していない方(未受診だった方)
	平成5年4月2日～6年4月1日	
	昭和63年4月2日～平成4年4月1日	
	昭和58年4月2日～62年4月1日	
	昭和53年4月2日～57年4月1日	
	昭和48年4月2日～52年4月1日	

《今号の主な内容》

- ・ 施策成果アンケート調査の結果がまとまりました
- ・ 受診生チャレンジャー支援貸付事業
- ・ 市民大学中期コースの受講生を募集します
- ・ 第199回市民プラザロビーコンサート

7面 4面 3面 2面

「プラムポックスウイルス(PPV)」 調査を実施しています

農林水産省と都の職員(職員証を持参)が、8月上旬まで目視などにより市内のウメ・モモなどの「プラムポックスウイルス」調査を行っています。ウイルス感染の疑いがある場合、所有者の了解の上、葉を採取しますので、ご協力をお願いします。

【ご注意】「プラムポックスウイルス」は、ヒトや動物には感染しません。また、果実を食べても健康には影響ありません

詳しくは都農業振興事務所☎042・548・4881、農林水産省横浜植物防疫所国内検疫担当☎045・211・7155へ。

知っておきたい主要五大がん検診

がんの中でも厚生労働省が検診の科学的根拠を認証して、受診を推奨しているのが、「肺がん」・「胃がん」・「大腸がん」・「乳がん」・「子宮頸がん」の主要五大がんです。市では、主要五大がんの検診を実施しています。

◎肺がん検診

肺がんは、がんの部位別死因で1位となっています(2011年)。喫煙との因果関係が科学的に証明されていますが、非喫煙者でも発症します。

【検診内容】胸部をエックス線で撮影します。喫煙者など特定の方には、医師の判断で痰の検査(喀痰検査)を行う場合もあります。検査後、専門医による判定を行います

◎胃がん検診

胃がんは、がんの部位別死因で肺がんに次いで2番目になりましたが(2011年)、患者数は依然として多いのが特徴です。

【検診内容】問診およびエックス線撮影です。バリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬品)を飲んで、形状や粘膜の状態について調べます。検査台に乗って握り棒で体を支えながら、体位の変換を行います。胃カメラではありません

◎大腸がん検診

大腸がんは、食生活の欧米化に伴って、近年、患者数が増加し続けています。

【検診内容】便の採取による検査(検便)です。自分で検査キットを使用し採取した検体を提出していただき、便の中の見えない血液の反応を調べます。判定の精度を高めるため、2回分の検体を提出していただきます。大腸カメラは実施しません ※大腸がん検診の詳細は、今号の8面をご覧ください。

がん検診推進事業

26年4月20日時点で市内在住の対象(右表3参照)となる方(男女とも)に、大腸がん検診無料クーポン券を5月下旬に送付しました。詳細は同封の「ご案内」をご覧ください。

(表3) がん検診推進事業(大腸がん検診)対象者

対象年齢	対象生年月日
40歳	昭和48年4月2日～49年4月1日
45歳	昭和43年4月2日～44年4月1日
50歳	昭和38年4月2日～39年4月1日
55歳	昭和33年4月2日～34年4月1日
60歳	昭和28年4月2日～29年4月1日

乳がん検診

【対象】市内在住の40歳以上の女性で、26年12月31日時点で奇数年齢の方。ただし、現在治療中、または過去に精密検査で異常を指摘された方はご遠慮ください。また、妊娠中、授乳中、卒乳後半年を経過していない方は受診できません

【実施期間】10月～27年2月(医療機関の休診日を除く)

【検診内容】問診、視触診、マンモグラフィ検査(乳房エックス線検査)

【費用】1,000円 ※東日本大震災により市内に避難している方、生活保護受給者、中国残留邦人等支援給付対象者は無料。

【受診場所】複十字病院健康管理センタ

ー(清瀬市)、アルテミスウイメンズホスピタル

申し込みは8月14日(木)までに(消印有効)、一人1枚の往復はがきの往信面に、①「乳がん検診希望」②希望受診場所③住所④氏名(ふりがな)⑤生年月日⑥年齢⑦電話番号を記入の上(返信面にも住所・氏名を書いて)、〒203-0033、滝山4-3-14、わくわく健康プラザ内、健康課特定健診係宛て郵送を。8月1日(金)から電子申請でも受け付けます ※市からの返信は、9月下旬から、申し込み受け付け順に行います。詳しくは同係☎477・0013へ。